

1. IP(知的財産)による成長戦略

■ 会社概要

1. 知的財産 (IP) による成長戦略 会社概要	
企業理念『すべての人に最高の余暇を』	
(2016年3月31日現在)	
設立	1988年(昭和63年)6月
資本金	79億円
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 / 証券コード 2767
事業内容	1) キャラクターなどのIPの企画開発、関連ビジネス 2) パチンコ・パチスロ機の企画開発、販売
連結子会社	㈱円谷プロダクションなど計16社
従業員数	1,845名(連結)
株主数	6,162名

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 3

⇒ 説明会資料 3ページ

会社概要は表の通りです。

当社は、IP(知的財産)を中心とした事業を展開しています。
また、創業時より行っているパチンコ・パチスロ機の販売などは、
現在も収益の柱となっています。

■ 当社沿革



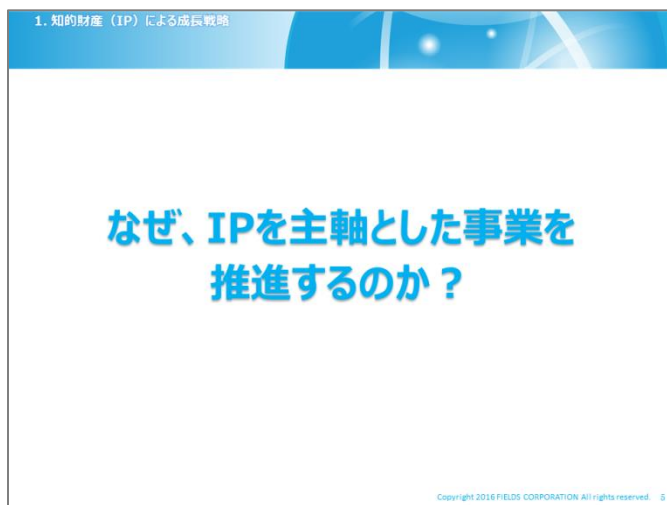
⇒ 説明会資料 4ページ

当社は1988年にパチンコ・パチスロ遊技機の流通商社として
事業を開始しました。そして、2008年頃からパチンコ・パチスロ
以外でもIP展開を加速させました。

現在は、パチンコ・パチスロはもとより、映像、ゲーム、ライセンス
など多様な分野で、取得・創出したIPをクロスメディアで展開する
ビジネスを進めています。

1. IPによる成長戦略

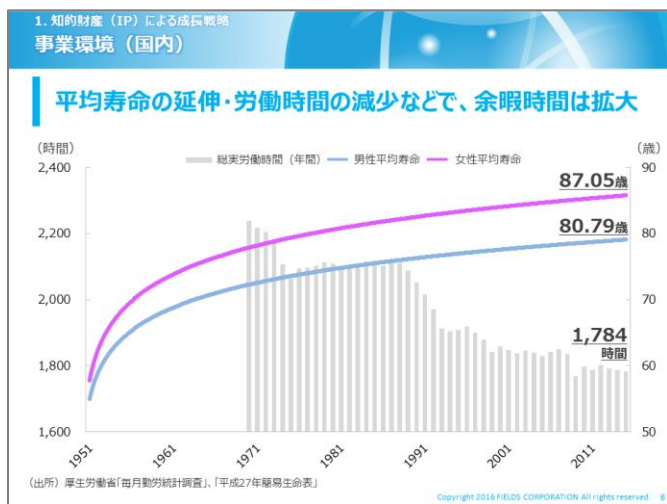
■ なぜ、IPを主軸とするのか？



⇒ 説明会資料 5ページ

当社がIPを主軸とした事業を推進する理由についてご説明します。

■ 事業環境(国内)

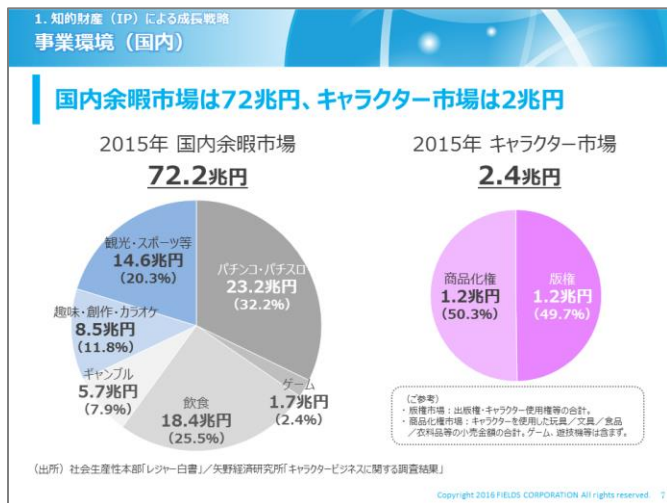


⇒ 説明会資料 6ページ

国内の平均寿命と総実労働時間については資料の通りです。日本人の平均寿命は年々伸びているほか、技術の進化も相まって、余暇と呼ばれる時間が拡大しています。今後、充実した余暇をどのように過ごして頂くかという事業は、国内はもとより海外にも広がっていくと考えています。

1. IPによる成長戦略

■ 事業環境(国内)



⇒ 説明会資料 7ページ

国内の余暇市場、キャラクター市場については資料の通りです。他社事例から見ても、キャラクターがロングテールであれば、プラットフォームの進化に合わせてつつ、幅広い世代をカバーしていくことで、ビジネスチャンスも大きくなると考えています。

■ 事業環境(海外)

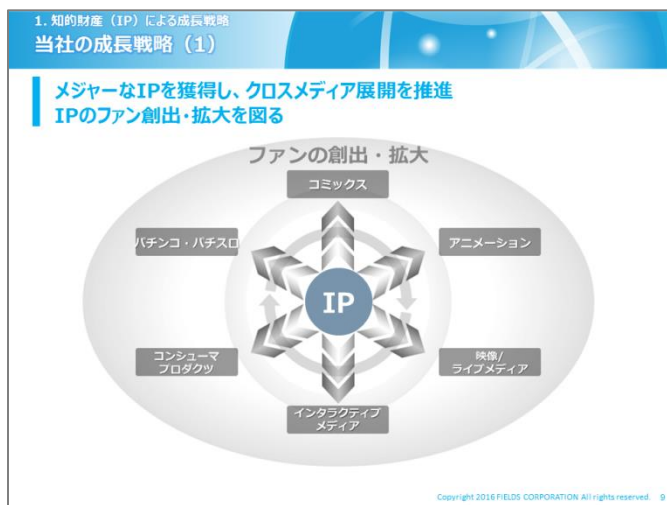


⇒ 説明会資料 8ページ

世界環境を見てみますと、一説によると2050年までに日本の人口は1億人を割込み、GDPも微増に留まると言われています。一方、海外の人口は91億人に増加し、GDPも335兆円へ拡大すると言われています。これも踏まえ、今後は世界から愛されるキャラクターというのが、ますます重要になると考えています。

1. IPによる成長戦略

■ 当社の成長戦略(1)



⇒ 説明会資料 9ページ

先述の通り、当社はキャラクターなどのIPを、コミック、アニメーション、映像/ライブメディア、インタラクティブメディア、コンシューマプロダクツ、パチンコ・パチスロといった広範な分野に展開することで、ファン層の拡大と収益拡大を目指すという戦略を推進しています。

■ 当社の成長戦略(2)



⇒ 説明会資料 10ページ

海外展開については、現在、世界中で映像配信が活況となっています。

日本のキャラクターやアニメーションは海外でのニーズも高く、こうしたグローバルプラットフォームを展開する企業と協働し、コンテンツを全世界に展開することで、マーチャンダイジングの面から見てもビジネスチャンスが拡大すると考えています。

1. IPによる成長戦略

■ 当社の成長戦略(2)

1. 知的財産 (IP) による成長戦略
当社の成長戦略 (2)

ウルトラマンシリーズなど複数IPでグローバル展開が加速

主なIP	グローバル展開内容	国・地域 ※括弧内はパートナー	
■ウルトラマンシリーズ	映像配信	グローバル (クランチロール) 中国 (テンセントなど)	
	番販、ライセンスなど	中国、東南アジア	
	ライブショー	中国、香港、タイ、マレーシア、ブルネイ、インドネシア	
■月刊ヒーローズ (21タイトル)	電子書籍配信	中国 (チャイナモバイル/筆石)	
	銀河機攻隊マジェスティックアリス	テレビ放送	香港 (J2)
	ソウルリヴァイヴァー	ハリウッド映画化企画	米国 (BEDFORD FALLS)
■ベルセルク	映画上映、映画祭出品	米国、カナダ	
	映像配信	グローバル (クランチロール)	
■GANTZ:O	映画祭出品	イタリア (ヴェネチア国際映画祭)	
■アクティブレイド-機動強襲要塞第八係-	映像配信	グローバル (クランチロール)	
■ソウル・オブ・セファンス	ゲームライセンス	インド	

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 11

⇒ 説明会資料 11ページ

海外展開では、「ウルトラマン」シリーズは映像配信、ライセンス、ライブの展開を進めています。また、「月刊ヒーローズ」は中国での電子書籍配信を始めています。
この他、作品毎になりますが、海外での映画公開や映像配信も順次進捗しています。

■ IPの展開例:ウルトラマンシリーズ

1. 知的財産 (IP) による成長戦略
IPの展開例:ウルトラマンシリーズ

2010年 当社子会社化以降、新テレビシリーズ開始/アジア展開加速

1966 昭和シリーズ開始
ウルトラマン ウルトラセブン

ウルトラマン80以降 テレビシリーズ休止

1996 平成シリーズ開始
16年ぶりテレビシリーズ再開

高質な製作費により制作ベースが純化

2010 当社子会社化
新テレビシリーズ開始 アジア展開加速

ウルトラマン セブン ジャック エース 80 ティガ ダイナ コスモス ネクス ゼロ ギンガ/ビクトリー

タロウ レオ ガイア マックス メビウス エグス オープ

©円谷プロ Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 12

⇒ 説明会資料 12ページ

当社が保有するIPの展開例として「ウルトラマン」シリーズをご紹介します。
「ウルトラマン」シリーズは、1966年に放送を開始し、これまで50年間の歴史を積み重ねてきました。
当社は「ウルトラマン」シリーズを保有する円谷プロダクションを2010年に子会社化しており、以降、映像を起点に様々な展開を進めています。

1. IPによる成長戦略

■ IPの展開例:ウルトラマンシリーズ

円谷プロダクションの状況



⇒ 説明会資料 13ページ

2010年以降、円谷プロダクションはテレビシリーズを再開させ、国内マーケティングの強化、東南アジアへの展開加速、多キャラクターの海外展開などを進めてきました。
この結果、同社の営業利益は2012年3月期と比べ、3倍近くという状況になってきました。

■ IPの展開例:AKB48



⇒ 説明会資料 14ページ

当社がお借りしたIPの展開例として「AKB48」をご紹介します。
当社は2011年に商品化権及びゲーム化権を取得し、オフィシャルショップ、グッズ、ソーシャルゲームなどを展開しています。
「AKB48」はパートナーからお借りしているIPですが、クロスメディア展開により、大きなビジネスとなっています。

1. IPによる成長戦略

■ IPの展開例:月刊ヒーローズ

1. 知的財産 (IP) による成長戦略
IPの展開例: 月刊ヒーローズ

2011年に「月刊ヒーローズ」創刊、セブン-イレブンで販売
コミックから、テレビ/映画/遊技機など多メディア展開進行中

	ULTRAMAN ■ 等身大ウルトラマンの活躍を描く ■ 単行本1~8巻累計 220万部 突破
	仮面ライダーダークウガ ■ 平成仮面ライダーシリーズ第一弾 ■ 単行本1~4巻累計 40万部 突破
	Infini-T Force (タツノコ作品) ■ タツノコヒーロー集結 ■ アニメ化決定
	アトム ザ・ビギニング ■ 鉄腕アトム誕生までのストーリー ■ アニメ化決定

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 15

⇒ 説明会資料 15ページ

当社のIPの創出例として月刊ヒーローズを紹介します。
オリジナル作品に加え、等身大のウルトラマンとなる「ULTRAMAN」、仮面ライダーシリーズの「仮面ライダーダークウガ」、手塚治虫先生の代表作である鉄腕アトムの誕生前の物語となる「アトム ザ・ビギニング」、タツノコプロのヒーロー達が登場する「Infini-T Force」など知名度の高い作品やキャラクターを活用した作品を展開しています。

■ IPの展開例:パチンコ・パチスロ

1. 知的財産 (IP) による成長戦略
IPの展開例: パチンコ・パチスロ

パチンコ・パチスロのエンタテインメント化に向け、
1998年以降、取得・創出したIPをパチンコ・パチスロに展開

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 16

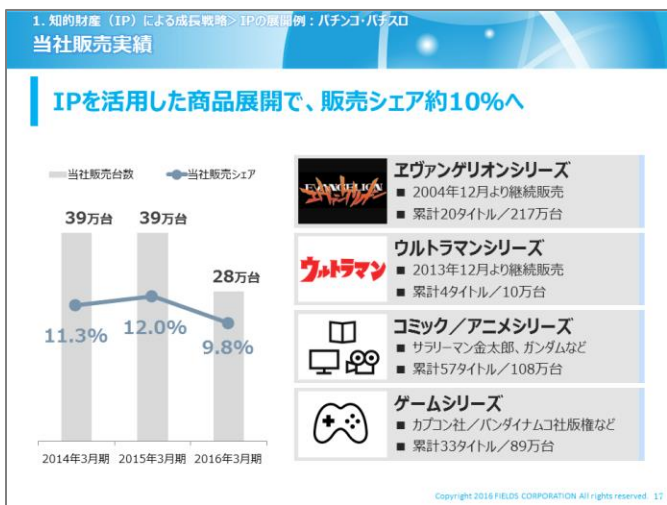
⇒ 説明会資料 16ページ

当社が取得したIPのパチンコ・パチスロへの展開についてご紹介いたします。
当社では、パチンコ・パチスロならではの演出性を高めるべく、「エヴァンゲリオン」をはじめ多種多様なIPを活用した遊技機を年間20機種近く販売しています。

1. IPによる成長戦略

■ IPの展開例:パチンコ・パチスロ

当社販売実績



⇒ 説明会資料 17ページ

当社のパチンコ・パチスロにおける販売実績をご説明します。「エヴァンゲリオン」シリーズはこれまでに20タイトルをリリースして、累計で217万台を販売しました。「ウルトラマン」シリーズは2013年以降4タイトルをリリースして、累計で10万台を販売しました。こうした商品展開により、販売シェアは10%前後で推移しています。

■ IPの展開例:パチンコ・パチスロ

直近の業界動向と、当社の販売見通し



⇒ 説明会資料 18ページ

直近の業界動向と、当社の販売見通しについてご説明します。現在は、エンタテインメント性の向上、及び射幸性の抑制に向けた規制などがあり、その一環として、当第3四半期にパチンコで大幅な入替が発生する見込みです。当社は、この商戦に向けて、「CRエヴァンゲリオン」や「パチスロモンスターハンター」など有カタイトルを順次投入し、市場の活性化を目指していきます。

2. 業績推移

■ 業績推移

2. 業績推移
業績推移

前期/今期はパチンコ・パチスロ規制等(健全化)の影響を受ける
なお、今期は収益化に向けた商品群が下半期に集中

(単位:億円)

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期	
	通期	通期	1Q	通期計画	前期増減率	
売上高	995	944	152	1,150	+21.7%	
売上総利益	284	254	24			
販管費	237	240	54			
営業利益	47	14	△29	20	+41.7%	
経常利益	54	13	△32	20	+44.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	1	△23	10	+742.7%	

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION. All rights reserved. 20

⇒ 説明会資料 20ページ

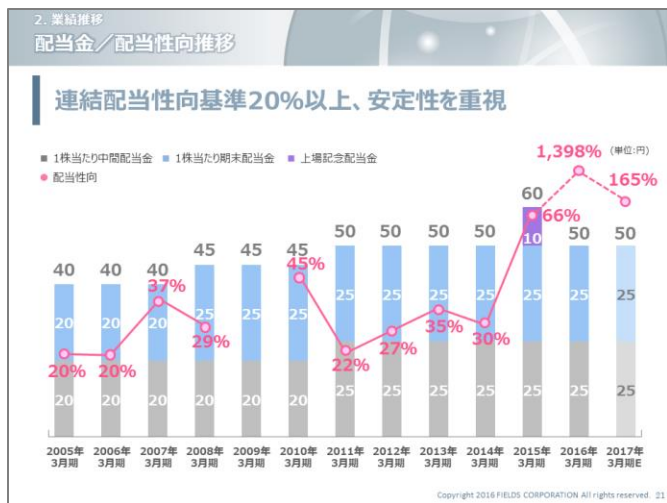
業績推移は表の通りです。

営業利益は、2016年3月期 14億円に対し、2017年3月期は20億円を計画しています。

なお、これまで安定的に営業利益100億円を達成しており、早期にこの水準に戻したいと考えています。

今後の収益イメージですが、中長期的にはパチンコ・パチスロとその他の収益を同等のレベルにしたいと考えています。そのためのポイントとして、有力なIPの取得または創出、IPの展開先の拡大と価値最大化、そして展開地域をグローバルも含めて拡大させることを考えています。

■ 配当金/配当性向推移



⇒ 説明会資料 21ページ

配当金/配当性向の推移はグラフの通りです。

当社は、連結配当性向基準20%以上、安定性を重視した配当を基本方針としており、業績の伸長とともに配当の基準も上げていきたいと考えています。

3. さいごに

■ 企業理念の実現へ

3. さいごに
企業理念の実現へ

企業理念「すべての人に最高の余暇を」の実現に向けて

私たちフィールズは、

「すべての人に最高の余暇を」という企業理念の実現に向けて、
世の中の人々の心を豊かにする商品やサービスの提供に努めてまいります。

事業活動を通じた **企業の社会的責任 (CSR)** を果たし、
社会のさらなる成長と発展に貢献してまいります。

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 23



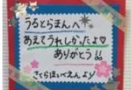

⇒ 説明会資料 22ページ

さいごに、当社は「すべての人に最高の余暇を」という企業理念を掲げています。そして、この実現に向けて、引き続きIPを活用した商品やサービスの提供に尽力し、また、事業活動を通じた企業の社会的責任(CSR)を果たしていきます。

■ ウルトランマン基金について

3. さいごに
ウルトラマン基金について

**2011年 東日本大震災被災地支援向け「ウルトラマン基金」を設立
これまでに1万人以上の子どもたちと触れ合う**

2011年 ~ 2014年	<p>東日本大震災被災地への支援訪問活動</p> <p>宮城県：石巻市、南三陸町、気仙沼市、東松島市、女川町 福島県：須賀川市、郡山市、いわき市、福島市、富岡町 岩手県：西古市、大槌町、千草郷：旭市</p> <p>『ヒーローキャラバン〜子供たちの心に光を〜78 places in 東北』 79か所の保育園や幼稚園への訪問を実施。 『東日本大震災復興チャリティイベント元氣祭り2014』 アントニオ猪木氏とのコラボレーションにより開催。</p> <p>寄付金等の贈呈</p> <p>東北3県に寄付金贈呈、自治体にマイクロバス寄贈</p>	 
2015年	<p>活動範囲を、被災地を含む全国の 「支援を必要としている子どもたち」へと拡大</p> <p>『東北キャラバン2015』 東北地方の保育園、こども病院など訪問。 『関東・東北豪雨災害 茨城県支援』 茨城県内の保育園(所)や幼稚園及び児童養護施設、市役所への訪問を実施。</p>	
2016年	<p>『平成28年熊本地震災害 熊本県支援』 熊本県内の小学校、保育園(所)や幼稚園、避難施設、県庁、市役所、村役場への訪問を実施。</p>	

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 24

⇒ 説明会資料 23ページ

CSR活動の取り組みの一つを紹介します。
当社グループは、2011年の東日本大震災発生後に「ウルトラマン基金」を設立しました。
平成28年熊本地震災害の際は子どもたちへの支援活動に尽力し、また、その他でも児童養護施設やこども病院への訪問など継続的な活動をしています。
今後も、当社は社会のさらなる成長と発展に貢献すべく事業活動及び事業活動を通じたCSR活動に積極的に取り組んでいきますので、引き続き、よろしくお願い致します。

(スピーカー:代表取締役社長 繁松徹也)